(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　(年中無休刊 大祭日翌日休刊)

京城日報

七日夕刊
發行所 京城日報社
[illegible]

時間表
[illegible]

○新國會召集實現か

臨時參議院召集は段總理の讓歩となり馮總統の新國會召集實現すべしと觀測せらる（北京電報）

○露軍退却尚は繼續
獨軍アア河の線に達す

露國公報に曰く、我軍の退却はリガ灣に沿ひて繼續中にして敵はリガ市の西北五十露里なるアア河の線に達せりと（露都電報）

○露國軍事家の樂觀

リガ陷落するも獨軍の露都を脅威するは不可能なりと露國軍事家の所論一致せり（露都電報）

○露國兩大公の監禁

ミハイル、アレキサンドロウイツチ大公夫妻、ドミトリ、パウロウイツチ大公は反革命運動の陰謀に連坐し目下監禁せられ居れり（露都電報）

○獨軍猛烈に攻撃す
イルスクル方面に全力集中

獨軍のリガに入ると共に獨逸艦隊も亦リガ灣に入れり九月四日獨軍は猛烈なる攻撃を三十哩の戰線に亘りて行ひリガ、ウエンデン鐵道線にある露軍を孤立せしめん爲めイルスクル北方地帶に全力を集中しつゝあり（露都電報）

○獨軍策戰を擴大す

リガ占領の勢に乘じて獨逸軍は更に策戰を擴大して全波羅的海々岸に及ぼさんと努めつゝあり（倫敦電報）

○獨逸皇帝リガに向ふ

獨逸皇帝はリガの戰線に向ひたり（路透電報）

○伊太利軍モンテカブリエル占領
軍事上重要意義あり

伊太利軍はモンテカブリエルを占領し俘虜一千名を獲たり同地占領は軍事上の價値に於て最も重要の意義を有す（羅馬電報）

○ドリナも亦伊軍の手に

伊國包圍軍はドリナを占領せり（羅馬電報）

○英海軍兵營に爆彈を

九月三日獨逸ゴータ式飛行機はシヤタム海軍兵營を襲撃して爆彈を投下したりと（倫敦電報）

●東京市長問題

東京市長後任として澁澤榮一男の呼聲高し（東京電報）

●鮮米輸送と汽船會社

朝鮮米作豐收の見込みにて過度の積出しある豫想なるも何分船腹甚だ拂底にて作はざる爲め各汽船會社は朝鮮航路に就きて應急策を講じつゝあり（大阪特電）

●銀塊益々暴騰

銀塊益々暴騰して六日入電に據れば四十八片を報じ來れり（大阪特電）

●洋紙見越註文

洋紙の輸出制限傳はるや支那印度より見越の註文頻々として來りつゝあり（大阪特電）

●朝鮮に牧羊計畫

神戸日本毛織會社社長河西健次氏は今回朝鮮黃海道長淵郡陰河洞に約一萬町歩の牧場を設け羊一千頭を飼育せんとの計畫あり目下總督府へ土地貸下願出中なるが右は最初試驗的に羊一千頭を飼育する計畫なりと（大阪特電）

○安東縣知事通過

什安東縣知事夫妻は七日朝内地より釜山着列車にて來り午前十時三十分發列車にて安東縣へ向ひ歸任したり（釜山特電）

●正誤

七日朝刊東京特電「銀塊暴騰と大藏省令」と題する項中、下段本文五行目五十萬圓は五千萬圓の誤りにつき訂正す

●總督邸晩餐會

長谷川總督は既記の如く六日午後七時より新任松川軍司令官を官邸に招き晩餐會を催せり當日は軍師團並に憲兵隊司令部の主なる人々總督武官副官秘書官等の外大島中佐及河野大佐も出席したり

●米檢改規發布
改正の要點

本府檢査規則改正の件は愈々八日の官報を以て公布せられ十月一日より施行の事となれり、本改正は全文二十條より成り咸鏡北道及江原道を除く各道に施行するものにして改正の目的は前掲の如く米穀檢査の範圍を擴張して[illegible]

●特定運賃の改正（三）
本營業課長說明

本年度下半期に於ける輸送施設

（一）列車運轉時刻改正　昨年來貨物激增の爲め臨時貨物列車を增發し輸送に努めたるが本年十一月一日より列車運轉時刻の改正をなし京釜京義兩線に於ける貨物列車の運轉時刻を改め[illegible]

連絡船增發及び出陽

[illegible]

三倉庫の新設

[illegible]

▲輸送上の注意

[illegible]

▲先づ滿鐵客車

[illegible]

●大豆檢查規則
十月一日より實施

大豆檢査規則制定の件も亦た八日の官報を以て公布せられ來る十月一日より實施せらるゝこととなれり[illegible]

●紙肥禁輸
需給の狀況

▲硫酸安母尼亞

[illegible]

▲過燐酸石灰

[illegible]

▲重過燐酸石灰

[illegible]

▲紙類

紙類に就きてはザラ紙を除外したるは新聞紙價の協定も整ひ國內需要に對しては時に安價に供給せるを以て之を制限するの必要を認めず[illegible]パルプは製紙の原料なれば絕對に輸出を禁ずる方針なり因に洋紙は新聞紙を除き昨年度の輸出額八百四十萬圓[illegible]

●鮮滿直通列車運轉
釜山奉天間、十一月一日より
貨物列車直通も實行近し

滿洲鐵道と朝鮮鐵道相互間の旅客列車並に貨物列車の直通運轉實施に付き[illegible]安東にて乘換を要するため旅客は甚しき不便を感じつゝあり今回兩鐵道の統一を見たる結果右の不便を除去し釜山奉天間に直通列車を運轉する事に決し[illegible]

▲安東にて乘換

[illegible]

▲貨物直通列車

貨物列車の運轉は兩鐵道共從來全く接續に注意せず個々に[illegible]

●兩將軍の視察

駐剳軍司令官松川中將、同參謀長市川少將は七日午前九時より新練兵場附近に於て野島大佐の行へる龍山歩兵第七十八聯隊第三期末檢閲を視察したり因に右檢閲は戰鬪教練也しと

●長岡參事官動靜

滯京中なる佛國大使館附長岡參事官は七日午前十時總督府に長谷川總督を訪問し[illegible]

●河野大佐動靜

入京中なる河野大佐は七日午後七時より舊友知人の主催に係る朝鮮ホテルの觀迎宴に臨み八日朝南大門驛發汽車にて退京北行の筈なり

敬意を表したる上京畿道入澤第一部長の案內にて昌德宮、工業專門學校其の他諸學校を見物せり氏は八日朝南大門驛發汽車にて北行の筈なり

●井上事務官赴任

土地調査局事務官より忠淸南道第二部長に榮轉せる井上淸氏は七日朝南大門驛出發赴任の途に就けるが驛には多數の見送りありたり

●郡守陞敍

六日附を以て左の通り辭令ありたり

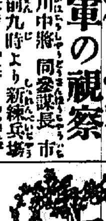
陞敍高等官五等　總督府郡守（全北茂朱）　鄭鎬振
陞敍高等官六等　同（全北鎭安）　柳秦英
陞敍高等官七等　同（全北高敞）　李建台

●佐藤鮮銀司事消息

紐育に出張中なりし佐藤鮮銀司事は客月同地出發歸朝の途に就きたるが五日午前十時コレア號發六日鮮銀着の無線電信によれば横濱入港一日早まり八日朝入港すべしとなり同氏は其後東京に赴き中旬若くは下旬歸鮮すべし

人事消息

▲上田駿一郎氏（觀象官）　六日附を以て全羅南北道管內へ出張を命ぜらる
▲木梨魏太郎氏（大連材木商）　七日朝入京



浴後に

○リガの陷落は獨軍の爲には三ケ條の大なる利益あり。第一は、露都を脅かすに至便なる事、第二には、襲露飛行機の根據地として適當なる事、第三は、バルチツク海に於て、獨逸海軍の根據地を得る事也。若し夫れ露都モスクワに撤退し、獨軍ペトログラードに入らんか、歐洲と東洋方面との、陸上連絡は、茲に全く遮斷さるゝに至るべし。危哉。

○忠實なる告白は、甘美なる芳醇の如く、人を醉はし、善意の諒解は、國交の第一要義也。石井特使の演説は、よしや過褒にもせよ、米人に深甚の印象を與へ、熱狂的歡聲湧く。慶可。

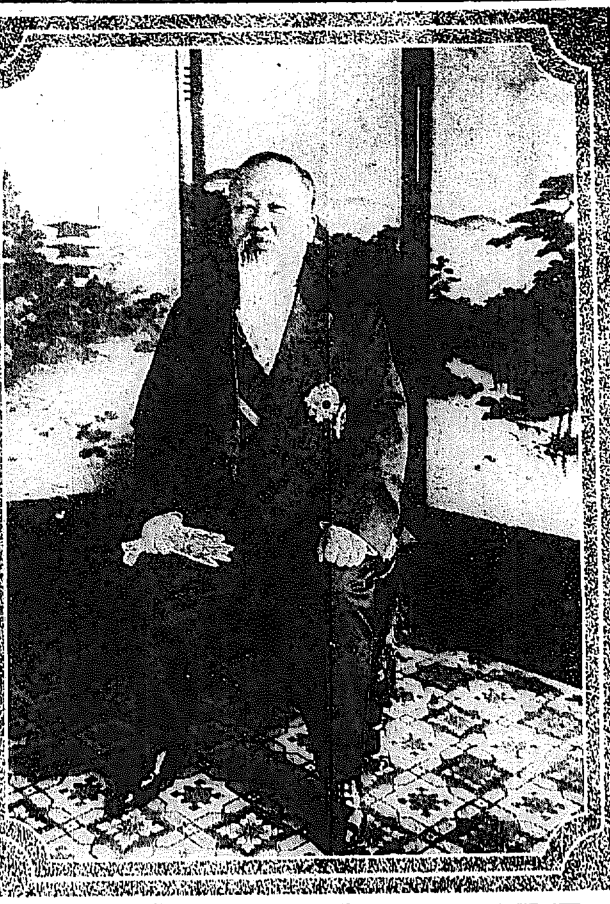
○露首相ケレンスキー曰く、米國の單純なる民主政治は、最も能く了解するも、英國帝政の性質は了解しかぬると、近時露米の親近著しき、以て察すべき也。

明月

明月や騰す隙なき無一物　若鉄

大塊

一つ增す供物の芋や今日の月　既兒鶴集



露都侵入は全く困難だ
露政府の莫斯科移轉説は事實か
軍司令部某參謀談

リガの陷落と今後に於る獨軍の侵入如何

リガの陷落と今後に於ける獨軍の露都侵入如何に付軍司令部の某參謀は曰く、獨軍は夙に國境を超へて露國に侵入し、バルチツク海に臨んだリガ近くに迫つてゐたのだが愈々最近レオポルド親王の率ゆる

◆優勢の獨軍は自ら 潰走退却する露軍を逐ひ殆んど戰爭らしい戰爭をやらず同要塞を攻略したやうだ、リガよりペトログラードまで日本里程で約百里、獨軍の露都侵入が或は近く現はれずやと云ふ獨逸が海陸共同大に前進を策したら全く

◆不可能とは云へぬ けれど然し大なる犧牲を要し容易に露都に切迫るやうな事は事實上出來まいと思ふ、恐らくリガの攻陷により露國の人心に不安動搖の念を與へ講和機運の促進に資せやうと云ふのではあるまい乎、倘ほ予等の手許には獨軍の兵力も露軍潰走の狀況も新聞による以外何等情報が來てゐないから今日の所は

◆之れ以上の判斷は 出來兼ねる、序でにリガより見るとペトログラードに百里だが、モスコーにも約百里で、方面こそ違へ、里程に大差はない、ナポレオンの露國攻略はモスコーを先づ陷つたのであつたが、現に萬一獨軍がペトログラードに迫ると云ふやうな事になればモスコーも危いと見るべく、此際露國士氣の振作を望むや切である

想像から、既に其の政府の莫斯科移轉説さへ傳へられ出した、然し獨軍の東方全戰線が一齊に前進し出さぬ限り、リガ方面の軍團のみが獨り

◆深く露國に侵入し て行くと云ふ事には色々の困難が伴ふ、第一其の侵入軍は仲々の大兵でなければならぬ、然るに其の大兵を養ふ輜重が果してよく後方に連絡して來れるか、後方の輜重を防護するだけの兵力を配備して行けるのであるか大に疑はしい、尤もバルチツク海に於ける露國の海軍は弱勢だから、

□東宮御還啓

皇太子殿下には七日午後零時二十五分日光御用邸御出門入江東宮侍從長以下供奉員隨從して御還啓の途に就かせられ午後零時四十五分日光驛御發車、午後四時卅分上野驛御着車の上東宮御所に入らせられたり（東京特電）

飛降りて絕命

六日午前十一時五〇……をなし地上に打ち倒れ後頭部を強打……

一萬尺の嶺を越ゑて
高田輜重大隊の冒險的壯擧

越後高田輜重兵第十三大隊にて白馬嶽登攀を行ひ金森隊長以下將校十六名下士卒百六十六名、馬匹百九十頭五日高田の本隊を出發し極めて痛快なる冒險的壯擧を試み標高一萬尺の白馬山嶺に馬を牽め十五日歸營に出づる豫定なりと（東京特電）

綿ネルの不賣同盟

綿糸布の暴落に伴ひ綿ネル相場低落せるが市中の綿ネル手持筋は競ふて手持品を投賣になす爲め益々下落する一方なるより同業者は綿ネルの市價を維持する必要上不賣同盟を締結せんとしつゝあり（大阪特電）

露廢帝の皇太后危篤

黑海沿岸に流謫されたる露國皇太后は病氣危篤なりとの報あり（哈爾賓電報）

首相夫人へ御見舞品下賜

寺內首相夫人病氣に付き皇后陛下より御見舞として御菓子一折を下賜せられ又た各宮家よりも御見舞の御菓子を賜はりたり（東京特電）

首相夫人輕快

寺內首相夫人の病狀に就き某所に達せる電報に依れば夫人は既報の如く一日午前頭痛を催し夕刻に至り發熱四十度に上りしが五日來は三十八度に低下し脈搏呼吸には左したる異狀なし滋養物は日々適當の量を攝取し時に憂ふ可き徴候なるも當分周到なる注意を要する由因に其の病症は腸胃炎なりと

李太王殿下誕辰の慶び
＝第六十五回の誕辰日＝
德壽宮の綠陰 石造殿の內宴

今年六十六歲になられる德壽宮の李太王殿下は八日の午前十時より誕辰の式を擧げらるゝ、何分內宴の事であるから公式の御祝ひは催されぬが此の日は李王殿下及妃殿下をはじめ李堈公殿下も御慶びに訪問され殿下には午前十時に咸寧殿に於いて祝賀の御膳を召され正午から石造殿に於て接見式を行はれるかくて午餐會は零時半から惇德殿で催ほされ午後の七時からは餘興の活動寫眞を御覽になる招待されたる人々は李王殿下をはじめ朝鮮貴族、李王職長官次官以下の職員なる二十餘名である

南畫の大家 小阪芝田氏逝く

南畫の大家小阪芝田氏は五日午後一時肝臟病にて逝けり、行年四十五歲（東京特電）

▼幼にして盛名あり 小坂芝田翁は明治五年一月長崎縣伊那町に生る幼にして兒玉果亭に師事し盛名あり爾來二回文展に三等賞を得以後毎回出品推薦を辭す日本美術協會日本南宗畫會幹事たり

虎疫蔓延と東京各驛の警戒

新潟、富山、石川、茨木、千葉各縣下に亘りて虎疫益々蔓延の兆あるを以て是れが豫防の爲め上野、兩國、飯田町、新宿、品川各驛に於て消毒を開始したり（東京特電）

堺市水道給水

水切れにて給水を停止しゐたる堺市の水道は昨今水源地に稍々貯水を見たるを以て八日より制限を設けて一般に給水することゝなれり（大阪特電）

南大門通の火事
鮮人三名負傷

七日午前一時頃京城南大門通り五丁目十六番地宿屋業鄭召吏（セ）方室內より洋燈の灯が蚊帳に燃え付きて發火し大事に及ばんとせるを止宿人及び家人等協力して消防中急報に接し常備消防隊出動一戸半燒（損害約二十圓）を燒けたるのみにて十五分の後鎮火せり

因みに家人共氏（二）は右脚大腿部以下に火傷し李姓女（二）は左手指三本を燒き李姓女の女兒（生後一箇月）は頭部に負傷せしが何れも應急手當を加へ生命には異狀なかるべし

順化院より（二）
滿六箇年 男子に多い

京城の傳染病患者が送られる順化院、創立は明治四十四年の八月中で今年の九月で滿六箇年の歲月が經た創立當時から大正五年末まで五箇年間の收容患者數は內鮮人共總數二千六十六名、內死亡數が三百七十八名出た

▣百人中 十八人の割である尤も疑似患者百五十六名を除けば百人中十九名の割となる、順化院に收容される患者の數は毎年增加の傾向がある、はじめは一年三百人內外のものが昨今では六百名位になつてゐる

▣これを 一年の平均にすると三百四十四人、延人員にすると八千人、一日二十三四人の割になる、尤もいくら順化院だからと云つても法定九種の傳染病患者以外の者は收容されない、また同じ傳染病でもペストと發疹窒扶斯はお斷りである

▣京城で 毎年起る傳染病は赤痢、腸窒扶斯、パラチフス、猩紅熱、ジフテリヤ、天然痘の五つである、收容患者中には赤痢、窒扶斯が年によるが多く何れも六百名、次ぎは猩紅熱の三百六十四名、次ぎはジフテリヤの百十六名の割となる、次に患者の年齡から云ふと

▣總じて 子供の時から三十才までは急性傳染病に罹されるとが多く卅才以上になると漸次減少して來るまた十才以下の子供は主として猩紅熱に罹され、廿才から卅才までは多く赤痢、窒扶斯に罹られる、總じて傳染病は男子に多いのは爭はれぬ事實であるが唯だ

▣猩紅熱 だけは女子に多いといふ、またアメーバ赤痢は鮮人に多いが其の他の傳染病は內地人に多い、それに京城の土地から見ると患者は一般に內地人側の本町署管內に多く出て鮮人側の鍾路署管內に少いのも面白い現象である

拐帶

全北錦山郡南二面石洞里資石韓鳳來（二〇）は大正五年十二月以降本年一月十六日迄に京城府本町山縣合資會社事務所に納入すべき賦課金百五圓の納付方を依賴され之を携へて入京後同九十圓を取り寄せ合計百九十五圓を拐帶して姿を晦ましたるより目下行衛を搜索中

七日漢江水量

六日に於ける龍山漢江の增水量は十九尺五寸にして漸次減水せる折柄一方又復五日夜來の降雨にて幾分增水せるため七日朝の水量は一尺を減じ十八尺五寸となれり

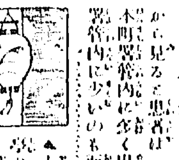
虎疫益々猖獗

各府縣に於ける虎疫益々猖獗にして六日正午內務省着電によれば虎列拉患者發生數は富山縣百四名、群馬縣六名、石川縣十三名、京都府一名、新潟縣三名なり

兩券番溫習會

京城券番にては十五十六兩日午後一時から三味線、鳴物の各師匠を聘して過般來より所屬妓の技藝練習の爲め各師匠補習の下に練習を開り居りしが今回各師匠の下に兩券番合同にて來る十五、十六兩日の京城座に溫習會を開催する事となりたるが京城券は之れを乙女會と名付け、中券は菊花會と名附けて十五日、十六日雙方相呼應して各券妓の技藝の蘊を觀せる由

書畫骨董入札 九月八日下見 九日入札 南山町三 佐々木泉石堂 電三三三



▲大和町三丁目に……山田……氏は……頃日……▲ところが……の實生をうなつて居る……何に夜更けまでなつても……近所は遠慮……人大狗……▲一お隣はなか〳〵……こばかり樹立を通じて物騒な聲のか……り合ひがはじまる相だ▲山田氏といへば先日一夕の觀月の宴を催したお客は名代の甘黨であつた何にも要らぬから菓子だけをよんで戴きたいとの御註文▲思案の末手づからかけつける程な無風流でもなからうがさて什麼ものを御款待にあづかるかを待つてゐるとやがて五六人の前には大入手製の立派なる木鉢が据ゑられた▲お客一同片唾をのむで一階に攻べはお臓の上は色とり〳〵の嬉い趣味▲先づ酢の物を罪はせば紫蘇のぎらひ酢い甘くおひらの代りには果實頭あり▲さて手前の黑い皿には白い色の鶏の卵もゆかしく中央の小皿には由來入りかうひの青きもうれし▲さしずめお腕のお汁は汁粉かと覺悟すれば中にはつぶあんのお萩が現れ次ぎに碗茶のアイスクリーム西洋皿のシュークリーム等▲次をから次ぎへお菓子攻めの歡待にはさすがの甘黨も兜をぬぎけり

商況

債券現物特電

七日出來値 東京 …… 東拓 …… 京城 …… 朝鮮銀行 …… 朝鮮 …… 南滿鐵道 …… 五六、五〇 ……七二、〇〇 ……

公債直取引

七日出來値 東京 …… 九六、〇〇 ……

深川在米特電

七日出來値 五分 …… 二回 …… 中 …… 八一、〇〇 ……九六、〇〇

東京期米特電

七日前場 …… 二〇、三八 …… 二〇、二九 ……

大阪株式

銘柄	前場	後場
大阪電燈	[illegible]	[illegible]
東洋紡	[illegible]	[illegible]
尼崎紡	[illegible]	[illegible]
大日本紡	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

七日前場 九月限 …… 十月限 …… 十一月限 …… 十二月限 …… 一月限 …… 二月限 ……

大阪期米特電

七日前場 …… 一五、〇〇 …… 一五、〇〇 ……

下關期米特電

七日前場 …… 二〇、〇八 …… 二〇、七四 …… 二〇、五九 ……

雜報

綿糸布又瓦落 十錢安い米棉二圓八十錢

……

再び動搖 當限二百七十五圓五錢先限二百六十五圓

……

龍シ一九龍八圓 五十錢羅綾及三銘 八圓六十錢の入電

……

紛擾中の豆取引 極力其解合

大連取引所は未だ紛擾中にて豆粕豆油の三種とも殆んど無見當の狀態なるが……

募集規程

……

最低八百噸を要す

……差を生じ……約三百萬圓の……

再製鹽と官鹽

再製鹽の製造困難 三十錢方騰り

此粉碎鹽の需用を喚起

彼我の位置顛倒 七日値上げ

丸鐵下落す

形勢傍觀

方の低落を報ず 約二十五圓

五分丸にて二百二十圓に下れり

皮革類活況

底革の約十五圓方引返

一般品拂底

露國輸出向

再び注文續々入込

杜絕後の滿洲粟

輸入採算値は六圓以上

作柄一般に見直

地醬油の其後

下關相場

形勢稍非也

調節令と人氣

天候回復乎

日先筒小相場

隨ひ大阪の騰附に保合

二百二十日の大厄 日を經過迄は斯る狀

熊も綿返

釜山穀物（六日）

南大門の廻穀

生魚市場

仁川期米

▲七日前場（鈍狀）

天候大阪天候晴

高の入電 昨日比八錢

大阪六節四十六錢

安移

仁川米豆取引所 仲買店 大五 店主 ……

仁川米豆取引所 七日の十一月限

市場寥閒

保合頭重し

白米標準値

小賣白米

田中金兵衛商店

雲晴れ

紡織女工としての朝鮮婦人

長き慣習を破つて寄宿舎生活に堪へられるか 手先が器用で忍耐強くあれば結構

四日工場地視察の爲め來仁した朝鮮紡織會社調査委員嘱託技師は曰く紡織工業に從事する女工は手の先が器用で長い勞働に堪へ規律を守り時間に對する觀念が確乎して居らねばならぬが朝鮮の婦人は此等の諸條件が想像以上に備はつて居ると言ふ事を聞いて

米撰女の作業狀態を觀察し又京城の機業所をも參觀したが指の先は仲々纖細に動く樣である殊に地方に依つては居常綿を紡いで機を織ると言ふ話であるが此分では紡織工女として相當成功するであらう忍耐力は什うかと思ふが將來所などでも十二時間位根氣よく働き

定刻に遲參なく出勤すると言へば申分は無からう只問題とするは從來家庭生活に閉ぢ籠つて居た彼等が家庭生活を離れて規律と拘束の多い寄宿舎生活に堪へらるゝか什うかにある會社としては缺勤勝ちの通勤女工よりも寄宿舎に收容する方が宜い

と言ふ樣では非常に困る朝鮮では學校などでは寄宿舎收容の經驗もあるが他に工場などで收容した例が無いから果して寄宿舎生活に堪へ得るや否やは實驗の上ならでは判明せないのは我々として一寸調査上遺憾に感ずるのである併し近年生活難の結果一般鮮人が内地人側の勞働に從事する者が多く且つ多年の慣習を破つて正月及び盂蘭盆等にも殆んど缺勤する者が無い其の勞働振りは實に驚く可き者があると言ふ話を聞いたが若しさうすれば或る程度迄は通勤女工でも差支ない理である次に京城の機業所では女工一人一回の食費は十五錢を要するが斯く食費が高くては

一人一日平均十錢乃至十二錢を發するのみであるから女工は喜ぶまい内地などでは日給は昨今戰前に比し非常に騰貴して全國平均三十六錢を支給して居るから女工の收益は頗る多くなつた朝鮮でも食費一回八九錢位でなければ不可まい又今日の一般鮮人の知識程度から見ても粗食であれば大いに下でも充分足りるであらうと思ふ（仁川）

饑ゑに泣く仁川の下層民

仁川某鮮人紳士は此頃の下層民の生活狀態を語る

◆仁川は商業地 とは言ふ者の朝鮮人側から觀ると漁民と勞働者の集つてゐる市であるから此頃の樣に米價が暴騰する職業を喪ふと言ふ有樣では殆んど草根木皮で露命を繫がねば他に活きて行く途があるまい例年の事ではあるが今頃になると精米工場や粉搗工場が殆んど全く閉鎖する結果目下就業して居た七八百の男工千に近い女工は

◆職業を喪つて 一厘の收入も無く辛うじて淺利掘りや眞瓜賣り擔軍などになつて夏枯期中の糊口を凌いで居たがそれとて極めて僅かの收入で數千の下層民は眞瓜か粟の粥か粟に野菜物を炊き込んだ食物を攝つて漸く其日〳〵を送り甚しきに至つては眞瓜賣りの傍に寄つて離れず剝いた眞瓜の皮を爭つて食ふと言ふ慘憺たる有樣であるから自然

◆營養不良に陷 つて近頃の鮮人市街に行つて見ると勞働者の顏色がどれもこれも血の氣が無くて土色をして居る然も眞瓜の內はまだ麥や其他の穀物が多少殘つて居て相場も多少安いから幾分助かるが近頃と來ては眞瓜はなくなり端境期であつて唯一の命の糧である穀類は騰貴する一方なので糊口難は益々加はつて二度の食事が一度となり粟の粥は草の葉となるのは當然だ秋風が立ち初めた九月程

◆勞働者泣せの 月はあるまい然し仁川も新穀が出廻り初めると仲々活氣を呈して勞働者の需要も增加するから茲一二ケ月を凌ぎさへすれば下層民も息がつける譯である

最後の仇討

世に知られた九州の名物男 臼井六郎翁逝く

明治の御世になつて最後の仇討を遂げた九州の名物男臼井六郎翁はとう〳〵死んだ、九月四日六十才を一期として佐賀縣の鳥栖驛前の自宅で永眠した、翁の仇討はこれまで芝居にも講談にも世人の知るところであるが記者は昨秋九州大演習の砌り翁と僅な五分間の立ばなしを試みた事を思ひ出す

●時雨の町に大雨の中へ訪り

明治大帝の御代となつたやうな十一月のある日であつた、南國の櫨の紅葉をうるほしてしめやかな晩秋の時雨がザアとふりそゝぐ午過ぎであつた、記者は博多から久留米の飛行隊へ急ぐ途中ふと物語りの中の臼井翁を思ひ出して街の何處かと新聞賣子に訊いて見ると、刀を拔いて敵を斬つた人は知りまッせんが臼井さんなら驛のすぐ前に居るといふ、十分間停車中まだ七分あるさばかり數へられた家にかけ込むと麥酒、サイダ、果實など並べた店頭には可愛らしい女中が居た

●『仇討の臼井六郎翁は御座るかー』といはれながら武者修業になつた猫らで名刺を差出すと奥から現はれた主人は叮嚀に上り口へ端座した「ハア、朝鮮からお出でか、それは〳〵」といふやうな挨拶から遲度も遲退したかしばらくしが出た、時計の針は二分、三分目、血に泣く翁の六十年の生涯を飛り石分に切つめようとするのである、翁は舊秋月藩の藩士であつた、明治になつて帶刀を廢されてから激の劍道場へは最後の三人となるまで通つて居た、翁の父は藩の要職に在つて頑黨の徒と暇合はず遂に斬されたのである

醒めた、當時相手は法官であつた、年は四十餘歲、二十歲の翁には手強い相手であつたが戰らしいことには當時の刀が偶然今年の秋の手に入りまして「……」とここまで聞くと突然サヤランく驛の鈴がなつた左樣なら日に「これは〳〵何の御情ひもしませんで……」ゴツ〳〵した木櫛の拾に端座して見送つた翁の風丰目に染みる其後河畔の雨と共に思ひ出である（記者の一人）

囚人生活

一坪に六人收容 健康狀態は良好 炒られる樣な焦熱地獄

仁川分監には目下在監囚百九十一名之れを昨年同期に比較すれば約四十名增加しつゝ有り其の原因は無論物價騰貴と就職難の爲めに窃盜が增加した結果であるが斯く囚人が增加した爲め獄內は一坪の間に約六人宛收容せねばならない譯り一層に三人が寢るのであるから夏の間の熱さと言つたら想像外だ殊に獄舍の內は風も通じないので同じ暑さも裝漏の暑さよりも猛烈なるに搗てゝ加へて押すから

渚の砂

■三千哩の迷兒

■日鮮人の大亂鬪

■大砲聲で自殺

■古墳を發見

■流痢に十九屍

■患者の狂言

■稍桶から

下痢は止めぬ方がよい

▽子供を手當のいろ〳〵

下痢の原因には（一）寢冷の爲め（二）腹や腸部を冷した爲め（三）不消化物の爲め等に起ると云ふ（四）不消化物の爲め等に起るものが多う御座います秋口などは温度や濕氣が變化の季節に適して居たりします時候の變り目で寢冷をしたりしますから

■惡い時には

■子供の下痢を起し易い時

■必要な場合

■番茶か紅茶

■又は食鹽水

神社とお寺と教會

演藝案内

黄金館 電話二三六六七

京城本町 ○五○ 館

人情劇 死の曲 二卷

大活劇 愛之戰 五卷

新派劇 ぬれ燕 四卷

有樂館

大正館

有樂館

本町五丁目 稻荷座

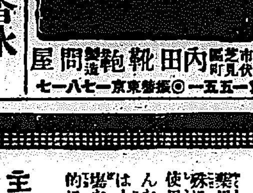
浪花館 明治町 電話二六○

◉產婆生徒募集 規則書要郵券 福岡產婆養成所

今延商店 大阪堂島米穀取引所仲買人

扇田醫院 皮膚 黴毒 京城太平通二丁目

皮革製造販賣 牛皮 山羊皮 高價買入 大田皮革株式會社



內田靴鞄問屋

株式會社 第一銀行支店 資本金 二二、七○○、○○○圓 積立金 一一、三○○、○○○圓 諸預金 一八八、○○○、○○○圓 支配人 西村道彥 京城府本町二丁目（振替貯金京城一一番）

朝鮮人參精製 ホシ人參 精力を盛し腦力を強る靈藥

種類			
ホシ人參丸	廿錢	五十錢	一圓 二圓
ホシ人參錠	五十錢	一圓	
ホシ人參末	五十錢	一圓	三圓 五圓
ホシ人參エキス	五十錢	一圓	三圓 五圓
ホシ人參葡萄酒	一圓		

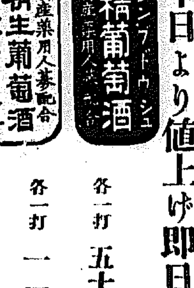
主効 神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、リウマチス、子宮血の道、腦病、神經痛、陰萎、營養不良、胃腸炎等に効あり

藥用人參は古來より不老長壽の靈藥として盛に賞用せらる殊に支那に於いて人參の需要盛なるは專ら精力增補の目的に使用せらる、が爲なり本邦に於いても近來人參の愛用益盛んなり、蓋し眞正純良なるものは極めて稀なり本品は人參研究に名ある朝鮮總督府顧問三宅博士が朝鮮人參の本場なる開城產の逸品中より優良なるものを選擇し是れを化學的に精製せるもの數ある人參製劑中の最優品なり。

▼各地藥店及特約店にあり

小島捕鳥用 カスミ網 其他雁鴨兎網等種々あり 吉備商會 京城永樂町

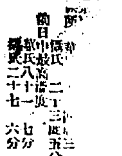
▲九月十日より値上げ即日實施▼



朝鮮特產藥用人參配合 各一打 五十錢高 各一打 一圓高

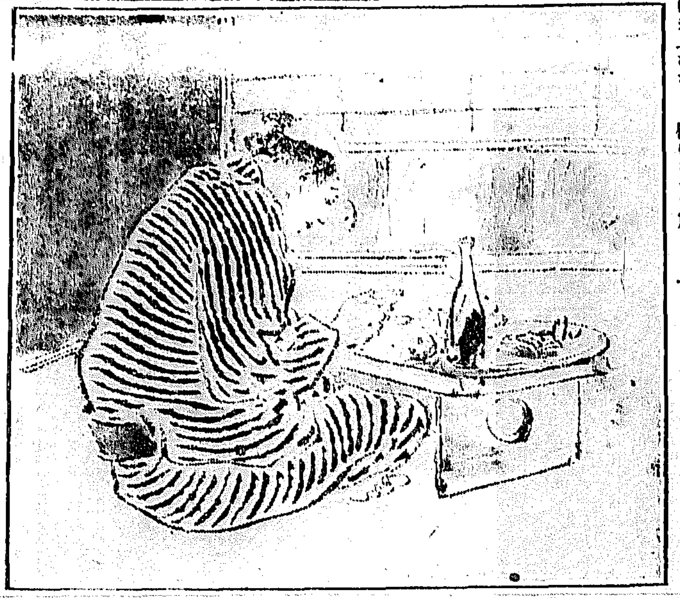
冬服地均一賣出し 九月八日より店頭陳列 表地一着分 十五圓、十八圓 二十圓、二十三圓、二十五圓其他 京城南大門通 丁子屋洋服店

!!!會員募集!!! 實用英語夜學會 九月十日より第二學期開始す 外人教師出席教授す 毎週月火木曜日午後七時半より 會場 旭町二丁目 日本メソヂスト教會構內（電話二五六五番）



左甚五郎 第二十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



目に青葉山杜鵑初鰹魚、八百八街を賣歩く威み肌なる魚屋金八 金「棟梁、今日は初鰹魚の生の宜いのがござんすが、刺身に作つて置いてゆきませうか 甚「オイ金八さん此方へ鮪をおいて行つてくんねい、鰹は仕舞にして置くから、棟梁衆に一杯飮して遣つておくんなさい、小僧御苦勞だが酒屋へ行つての、三ツ割を一本取つて來イ」吩咐けると間もなく酒屋から三ツ割を持つて來る、甚五郎は大安坐を掻いて悠々と酒を飮む、自分もグビリ〳〵飮み、充分に飮んで食てしまふとゴロリ横になつて寢てしまふ、目が覺めると顏を洗つて又膳の前に安坐を掻いてグビ〳〵飮みはじめる、毎日酒を飮んでは寢、起きては飮み飮んでは寢外に何にもしない、政右衞門は大層氣を揉んで 政「オイ〳〵冗談じやアねいぜ、五十兩といふ大金を受取つて然う毎日酒ばかり飮んで居ては仕樣が無いじやアねいか、グズ〳〵して居ると約束の日限りが經つてしまふぜ、相手が侍だ、八釜敷ことを云ふに違ひねい、ソロ〳〵仕事に取りかゝつては何うだ 甚「ナアに心配には及びません、何分氣が向かねいから拵へ仙で八釜敷云つても駄目だ、姐さん濟ないがお燗の宜いのを一本何うか持つて來ておくんなさい 政「又た飮むのか、困つた男だな、お前見たやうな酒の好きな男も無いものだ」と政右衞門一人で氣を揉んで居る、恰度三十日經ると、市川權太夫が遣つて參り

權「猪甚五郎、先日頼み置いたる品は出來いたしたか 甚「へエお出なさいまし、誠に何うも相濟みませんが、其の後些と工合が惡くつて遲れました、もう少々御猶豫を願ひます 權「何うも困るではないか、最初其方が十日と申したのを斯樣なことがあると拙者から十日延を打つて三十日間と此方で申して置いたに、今日に至つて出來をいたさんではお上へ對して申し譯が無い 甚「イエ此の後は間違ひはございません 權「間違ひが無いとして何日頃までには出來いたす 甚「へエもう十日ほど何うか御猶豫を、十日目にお出になつて出來て居りませんければ如何樣御立腹に相成つても申し譯はございません、何うぞ今十日御猶豫を願ひます 權「宜しい待つて遣はす、十日の間に出來いたします樣、其節に至つて又々三日待て五日待てと有樣なことを申すと此方使の役目が立んから氣の毒だが其方の首は貰つて行く故左樣心得ろ 甚「此度は堅く間違ひはあるまいな 甚「へエー今度はもう決して間違ひはございません、何に其約束に違つた時は逃げ隱れはいたしません、私の首を斬てお持ちなさるが宜い、俺の首で足らなければ彼處に居ります政右衞門の首も序にお持ちなすつても宜しうございます 政「オイ〳〵甚五郎兄貴も考へて云つてくれ、つまらねいことを云ふものだ、此處へ引摺り出されて斯るものぢやア無い、エー今度は嚴しく當人に申し付けまして、お贅澤の無い樣にいたしますから何うぞ御勘辨を願ひます 權「然らば何分共に頼むぞ、確かと申し付けたぞ」權太夫は其儘立歸りました 政「さア甚五郎、江臈こそだと思ふか、猶々云はねいことぢやア無い、彌々困つてくれなくつちやア困るぢやねいか、つまらねいことを云つたものだ、序に政右衞門の首もなぞと、先方が侍ぢやアねいか、冗談が冗談で濟みやアしねい、是からもうあることだ、あんなことを云ひなさんな 甚「何に權樂心配は及ばねい、まア安心して御在なさい、姐さん濟ねいが一本燗ておくんなさい 政「イヤ呆れ返つた男だ 甚「酒も今日は誰が何と云つても仕事は出來ない、まア然う一杯飮んで翌日のことで、まア宜いわ」と其日は相應に柿樣氣を揉ずに酒を飮んで寢てしまふ

九月九日九星 ……

新藥落成
京城明治町一丁目
入院随意
胃腸病院
院主 佐々木杏造
電話一六五九番

りん病
淋病を自宅で秘密に治す
宗傳秘法の妙藥あり……武藤亀吉
月經
流經新藥レスタリン
……常盤藥院

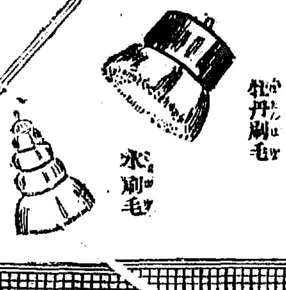
お化粧問答

【問】……

御婦人一代のお化粧の内
妙齡のお孃樣のお化粧法は
(第一に) 東京でも、大阪でも淑女式お化粧法として定評あるものお化粧法に殆んど極つて居ります。即ち
(第二に) 舶來石鹸よりも牛乳よりも滑かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顏を洗ふ。
皮膚の美を養ふクラブ美身クリームを襟から顏へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止め兼用の美身用クラブ美身クリームを代りに用ひ、指先で能く顏や襟に擦りこみ、蒸タオルで輕く拭き取る。
(第三に) 一番高尚で美しい艶の出る
クラブ白粉
生地まで白くなる
を掌に取り、指先で能く煉つて附け、(襟は顏よりも少し濃くする事)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせる。
(第四に) (濃化粧にはクラブ水白粉を御使用の事)。
お顏にホンノリと櫻色の健康色を添へるクラブ頰紅を、目の下から頰へかけて薄く刷きつける。
(第五に) お化粧に一段の光彩を加へるクラブ粉白粉をパフ革につけて顏に軽く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上を、パフ革で輕く打ちます。高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。

お化粧の順序
東京でも大阪でも大流行の

お化粧用はけ圖解



京城日報

第三版

九月八日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 前金に限り
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯印刷人 小川三之助

京城日報

羅馬法皇の地歩

發者、羅馬法皇、交戰各國政府に移牒して、講和を促がすや、聯合國側は皆之に應ずるの意思なく、就中、米國大統領の抗議的回答は、其志を挫ふべからざるものあるを示すものなり。乃ち、法皇の講和提議は、此に失敗に終りたりと解せざるべからざれども、法皇は之を以て其事終れりと爲さずして、更に、各國の回答を對比考較し、其相一致せる點と相一致せざる點とを舉示して、近々二たび各交戰者に移牒し、其の再考を促がすべしと云ふ。

今日、協商諸國及び北米合衆國は共に飽まで戰ふて獨逸を亡ぼさずむば已まずと爲す。獨逸とても只今直ちに降服するの意思なく、其力の有らむ限り反抗すべし、此の分ならば此戰役は猶ほ二三年は繼續すべき模様あり。就中、北米合衆國は最新の交戰者にして、彼が百萬の精鋭を歐洲戰線に出して、大決戰を爲さんには少くとも今後一箇年以上の準備期間を要すべく、米國人が思ふ存分の働きを爲し終るまでは、戰爭は已むべからず。且つ戰爭は實力の爭鬪なり。敵味方共に、有らむ限りの力を出し盡くして後にあらざれば、永遠の平和は求むべからず。故に世界的平和の爲めに云ふも、今日、尚も講和を言ふべきの時にあらず。然るに羅馬法皇は何の見るところありてか、連りに講和を促して、其提議の交戰者に容れられざるは、其の能く知する所なるべしと雖も、猶ほ且此に力めて已まざるは、蓋し、法皇自己の地歩を占むる爲にして、假令、今日其功を收めずとも、後日其事に當る爲めに先ち其地を立つるものなるべきか。

顧ふに、現羅馬法皇ベネヂクト第十五世は、珍らしくも政治家たる風骨を具ふるの人なる上に、其國務卿たるカルヂナル、ガスパリーは、夙さに外交家を以て目せらるゝ所の人物なり。千九百十四年歐洲戰役開始當時、既に其志嚮の存するものあり。先づ、英佛兩國に親近するの方略を取り、措據獨墺に親からざるなく、附米、獨墺にも、機會ある毎に交渉を試みて、其の及ばざるを捉ふるの情あり。特に世間、北米合衆國を以て、此戰役の終局に當るべき唯一の大立物なりと指目し居たるに、其米國が今は交戰者の一方の主力たらむとするに至りて、法皇聽たるもの其食指の動くを見ざるべからず。法皇及び國務卿蓋し以爲らく、此戰役の終局に當りて、世界的大功業を收むるもの自己を措いて他に存せずと。是れ其の然りとして、力めて從まざる所以なるべきか。

然れども、此度の如き世界的大戰役は、果して、外交的交渉を以て其局を結び得べきや否や。戰役終了の後は勿論外交の舞臺となるべし。然れども、戰役其ものは外交の力を以て之を左右すべからざるなり。七年戰役は、露西亞と普魯西との間の單獨講和に依りて、戰役終局の端を開き、ナポレオン戰役はナポレオン戰敗れて、國勢を改りたるの後に於て終り、此に初めて外交家の時代に入りたり。今度の戰役は、是等に比すれば一層大規模大仕掛にて、假令、或一國が單獨講和を爲したればとて、戰役は終結すべきにあらず。恐くは、獨逸皇帝をして、當年のナポレオンたらしむるにあらざれば、外交舞臺の幕は開くべからず。是れ吾人が、常に此戰局の前途悠久なりと云ふ所以也

物價騰貴と調節策（五）

思惑取締、次は輸出制限

△好景氣の反映　物價の騰貴は概して經濟界が好景氣に在る場合に起る現象で、則ち好況の反映だと謂ひ得る。適度の物價騰貴は國民の企業心を誘發し、産業の隆盛を期し、勢力の需要を喚起し、失業者を減少して、社會上に好影響を與ふるものであるけれども、夫れも自ら程度があつて、急激過度なる物價騰貴は、如何に經濟界が好況に在る場合と雖も之を歡迎することは能きぬ。物價が加速度を以て上進する場合、食料品衣料品其他日常必需品の騰貴に依て生活費は著しく膨脹し、一定の報酬に生活しつゝある中流乃至下層社會の生活は愈々壓迫される。我國に於ける生活難の問題は其の根源何れに在りやと云へば、仕事の缺乏よりも消費の高價なるに在りと謂はねばならぬ。仕事に困らずに生活難を唱ふる——即ち今日の生活難の喚聲は仕事を求むる者の聲よりも寧ろ既に職に在る者の聲である。西洋では街頭橋下に彷徨する無職浮浪の徒より生活難の聲が發せらるゝが、日本では日夕營々として活動する勤勉者の脈所より生活難の喚聲が出るのである。是れ收入に比し生活の必要費が著しく增加して收支均衡を得ない爲めである。物價の高いに加へて稅金は容赦もなく徵收される、成金金持ちなぞのやうに一大多喜的生活をなさぬから貧乏者は次から次と子供は殖ゑる。全く日本の中流以下の者は災難だ。然り災難である。自ら招くのでなくて、向ふから押しかけて來る災難に違ひないのだ。

△調節策と禁輸　國民の生活難を救ふには財政上よりも社會上よりも政治上よりも種々の考察を要すべし、食料品や住居の供給を低安にせよ、生產販賣の機關を整へ[illegible]、輸送分配を敏速低廉にせよ、地主と小作人の利害を調和せよ、租稅負擔を公平にせよ、と斯う數へ立てれば限りがないのであるが、差當り寺內内閣が列國の狀勢に鑑みて物價調節策を立て、十分も外間に洩れざる間に突如之を斷行したる事は、其の効果如何は別として、頗る趣旨に於て適切なるものがある。米穀、鐵類、綿系布、紙類、石炭、染料、藥品等何れも國民生活の必要品で又産業の基礎的材料品であつて、是等の物品が戰亂の影響を受けて市價を騰貴させ居るを奇貨として、其間に投機を試み、暴利を占めんとする商人の手中に握られ居るが爲めに法外の高値を現はし、需要者の苦痛は非常である。叙上の物品の商狀に就ては先に長くなる故別に說くまでもあらうが、兎に角異常の騰貴を告げて居る事は素人にでも解る筈である。八月三十一日の休日を一日置いて九月一日より調節令が發布と同時に實施されたのであるから、九月一日の東京大阪市場は大狼狽に陷つた。絲などは下落の觀があつたから一層泣き面に蜂の際であつた。併し此の調節令が出たから直ちに物價が下るものと早合點する譯には行かない。如何に調節令を付でも、一片の法令で以て經濟界が死命を左右せられる筈はないので、他に猶種々の施設が執られ、之と相俟つて物價は或る程度まで調節され得るであらう？ 買占買措を禁ずるとした所で、之が實行には餘程面倒が伴ふものであつて、政府が如何にして此の調節令の効果を擧げんとするかは世の均しく期待もし、又疑問も挾む所である。調節令の發布されし時、吾人は直ちに、既に此れまで斷行する勇氣あらば、進んで政府は後の歐米諸國で現に行へる如き、輸出の制限或は禁止をも斷行すべきであると考へた。其理由は次に述べる。果然、政府は吾人の豫想通りに今回紙と肥料の輸出禁止を斷行するに至つた。併し未だ此れ丈けの品の輸出禁止では物足りない。禁止でなくとも輸出の制限をして宜いものは外にも數々ある。穀類でも綿系布でも其必要があるやうである。尤も國產品の輸出禁止乃至制限については世の實業家商人間には多少の議論もあるだらう。併し貿易の根本原則から[illegible]場合に[illegible]必ずしも原則に悖るものでは無い。

○木馬歌　笹島紫峰

風驟雨日馬如龍○玉勒金鞍看成斑○個漢家九逸種○不困懸車不役庚○由來羽州之驪北○八百入深水深深○驪氣相凝產騏驥○可無聖時伯樂逢○木馬爲蹄千里駿○王父攜來授我儂○我儂受之拜跪久○垂髫深記情味濃○木馬同遊忘室乳○爾後何要騎竹節○王父相顧由衷喜恍惚眼前見風丰○王父森公於護庭○常爲閭里憂窮困○甘是畢獨北巡日○新築行宮彰祖宗○乳母鞠育馬與我○附隨何假事栽縫○我撫木馬下復路○可逐擬蝶又狂蜂○年市五歲臨枯悴○他鄉拉我弟亦從○倚居所見感異様○天邊眩譚島海峰○無復可跨木馬在○藏稿相睨呼元兒兄弟戯交爲馬○宜川不止流落淪○及時通學明德校○靑顏泣破縈昆鐘○簑衣蓑笠爲校具○十年貯盡秋城冬○果然又從東上路○路遠百里須千重○都下幸得兩三友○公庭不絶足音蹤○其奈與東異言語○別種衣裳五色穠○京童見我比狗秋○登校日日嘲駑駭○狡猾京童不易度兄弟戮偕策合縱○驚駭狡猾五建幟○先生執鞭苦陶鎔○年漸長而在中學○一念端及吾春○雪案螢窓自相戒○漸炭服勞被水供○邦家力唱北門急○出學兵書執銳鋒○殊恩風闕調　天子○仰感俯悦御杯醲○螻蟻衡命航海外○拜辭[illegible]

客蹤○家猶弟妹代我侍○雨夜遥思四陵登○昔者兒弟爲馬戲○今日所臨果其蹤非騎非馬非木竹○蹤昔萬里疾風衝○蹄然○憶起王父喝○欣鄉一日搜四瀧○不得[illegible]

誰　布施生譯（六〇）

途中で追跡られた時は大分危ふかつたが其先に近寄つた對手を斬倒してやつと免れた。これからは追手の方で氣後れがしたのか追跡も餘程緩んだ。其機を逃さず數敏は驟高に驅抜けて痛む身體を勵まし〳〵乍ら自宅まで歸著いた。驚く召使共が押留めて父の室へ驅込むと、折柄次男の利介を對手に碁を圍んでゐた父侯爵は蛇と睨まへ「慌しい、何事ぢや」と叫付けた。數敏は急しう會釋して「お暇乞に來たんです。もう此樣してお居られないんです。」「何事が起つたのぢや」「二人まで人を殺したんです。今に追手が來るんです」「己、仔細ぢや」「今日チラツンの町へ行つてゐたら破落戸共が私の惡口をいつてゐる所で親しい娘を侮辱したんです。聞いてゐられないから喧嘩してやつたんです。」「うむそうか、仔細か、よし〳〵それや大喝ぢや、そんな卑怯な事は見逃しては置けないわい、そりや數敏其方が正當ぢや褒めて遣はすぞ、したが其侮辱された娘と云ふのは何者ぢやな」「千振の令嬢です、親娘です。」「何だ、千振の娘だと、いゝ、あの惡婆め、何處まで己の家に祟り居るか、しかし數敏、千振の娘であらうとも、其方のした事は武士道の外れは無い、父が褒めて遣はすぞ。」其間に數敏は傷所を洗つて繃帯した、そして火酒を一杯ぐつと飲んだ、若盛りの彼の氣力は此の簡單な手當で恢復した、父侯爵は此樣を見成つて、さうだ數敏斬拔けられるかな。「大丈夫です。」「それぢやお早く支度なさい」と弟の利介は口を挿んだ「追手が來ると面倒ですよ」老侯爵は撫然として「さうだ捕まると裁判所へ引出されて處刑に遇ふ、思へば悲しい時代になり居つたわい、世が世なら何の土百姓づれの二三百人、己が采配取るまでもなく手の者に吩咐けて驅散らしてやらうもの」侯爵は成程無念の態であつた。利介は笑つて「父様のお樣が始まりました、いくら言つてももう時勢は變りました」「さうだ時勢は變つた、思へば悲しい、や數敏聞く通りぢや暇取つては時が遅れる早く往け」「父樣旅費が」老侯爵は復撫然として「旅費か、あゝ旅費は己の手許にも無い」「父樣」「いや虚言では無い、貧乏手許は淋しかつてゐるのぢや、いやさ思へば口惜しい此樣な軍用金にも事缺く身分となり果てたか、しかも今更言つても後の祭り、あゝ何か無いものかな」老侯爵は暫時立つたまゝ沈吟したが、軈て思付いて書齋の違棚から古色のついた立派な手匣を持て來させた、そして頸から懸けた鎖の小さな鍵でそれを開くと、中には寶石を鏤めた頸飾や腕輪指輪の類が燦爛かぎつしり收つてゐる「さあ數敏之を遣はすぞ、之は亡くなつた其方達の母親の記念ぢや、己は二十年來一日も之を手許から離した事は無かつた、己に取つては大切な品だが此所に母が生きてゐても屹度之を其方に遣はしたに相違ない、さあ〳〵之を持て早く往け」數敏は涙ながら其小手匣を受納めた、二人は互ひに堅く手を握りかけたまゝ、暫らくは無言で情に驅られて暫時は現在の危急を忘れた、「時が經ちますよ」と弟の利介に促されて數敏は我に復つた、そして忙しく室から出やうとしたが、父侯爵が「待て」と呼止めた、「あの娘の私が生命にかけて保證した、あの娘ね」「おれは私が好きな合嬢なんです、貰ひたいんです。」「貰つて下さい、お願ひです。」父侯爵は冷然として「不可、千振の者なんぞを如何してこの家へ入れられるか」「そんな事を仰有つては困ります、入れられないと言つても最早入れる外は無いんです、厭だと言つても今更退引は出來ないんです。」物狂はしい程に云ふ語を父侯爵は眉一つ動かさずに聞いてゐたが此時仔細ありげに眼を光らせて「うむそうか、もうそうなつてゐるのか、ふん、數敏、千振の娘は容姿好しだな」と呟いて「どうぞ父樣お願ひです」と云ふ「ほだな」[illegible]上つて驅出そうとした。

▲結局小相場　大阪の五落に附隨せざりし人氣は今

七日の十一月限　寄付 十七圓十五錢　後場止 十七圓二十五錢　高値 十七圓二十五錢　安値 十七圓十四錢

取組高　九月限 四千六百五十石　十月限 八萬〇〇五十石　十一月限 五萬八千九百石

…れたる近藤友右衛門は脱稅並びに稅務官吏に贈賄の件にて名古屋地方裁判所檢事[illegible]の取調を受けたり（名古屋特電）

大正七年朝鮮民曆發賣人募集
出願期限十月末日迄、定價一冊四錢
發賣人へ賣下價一冊三錢、發賣人許可數出願手續等ハ九月四日官報廣告參照府郡廳ニ承合スヘシ
大正六年九月四日　朝鮮總督府

陣營具入札　咸興、步兵第七十四聯隊納、詳細六日朝鮮官報ニアリ　第十九師團經理部

男女生徒募集　簿記
短期卒業就職確實紹介●英語、法律、商事要項兼修●學則郵劵要二錢
京城明治町二丁目　京城簿記專修學校

新學期始　生徒募集
一、刺繍科、一、普通科 三ケ月卒業
成績優等卒業後各科ニ依リ女教師に採用す
黄金町二丁目　シンガー裁縫刺繍院

最新刊
●日語會話獨習用語　丁奈原　五五
●機械工學便覽　市川忠一　三、〇〇
●商品論　武田總七郎　一、二〇
●交戰國民ノ心理狀態　協會編　五八
●衣服學　高橋五郎　一、八〇
◎續世の中　定價二圓
●婦德の修養　棚橋絢子　一、〇〇
●小兒病看護學　長尾折三　一、〇〇
●呉服店經營策　高木正巳　八〇
●修養と日常生活　本田日生　九五

無代進呈　最新版圖書分類目錄
大阪屋號書店　京城本町一丁目　振替京城二五七三番

完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕
京城旭町二の六　東京パイン萬年筆出張所
弊社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比眞に理想的なる●大日本政府登錄　米國製正十四金「イリジューム」付ペン（責任保險付）
パイン万年筆
定價 …
發賣元　京城日報代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番
取次所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

第六拾六回　拾圓勸業新債劵賣出
△總額面五百萬圓四分利附抽籤毎年三回
△初回鐵本年十二月一日大抽籤
◎割增金一等二千圓十五本 以下千四百八拾五本
▽現物賣▽月賦賣共本日より申込取扱開始
○現物賣は來る十五日より本劵番號記入引換劵御渡し致します
○月賦賣は同日より現物申込順により御渡し致します
○現物買方は逆劵料共拾圓廿錢○月賦買方は壹圓か二圓でも御隨意
振替京城四四一番　京城府長谷川町五八
○取次所　○鐵路出張所　○忠北支店　○平壤出張所　○仁川總代理店
日本勸業銀行　債劵月賦販賣所

テニス用具

價格低廉にして堅牢無比なるテニス用具は船印を措きて他に求むる能はず
テニス用一組　金拾圓より
テニス球白船印（赤ゴム）打金一圓五十錢
同　青船印（白ゴム）打金一圓三十錢
ピンポン用具　上等一組　金一圓五十錢　並一組　金一圓二十錢
京城南大門通　堀井謄寫堂京城出張所　電話長四〇二番　振替口座一〇五八番

資本金壹百萬圓
株式會社　京城　漢湖農工銀行　支配人　遠山熙
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

謹啓　夏去り秋來らんとす諸賢益々御多祥之段奉賀候
偖而弊店儀從來本町三丁目（永樂町通り）に於て營業罷在以御蔭業務日に月に隆盛に相赴き居り候處今回尚一層新業務の擴張を劃策候爲め從來の店舖にては狹隘を感じ且つ位置の不便不尠候に就ては左記の箇所に移轉仕り一層の勉強を以て御用命相伺ひ申候條何卒倍舊の御引立に預り度此段以紙上御愛顧各位に謹告仕り候　敬具
京城南大門通五丁目（電話一三六四番）
木村商會　木村治
電氣機械、鋼鐵金物、機械油、カーバイド、汽罐保護液、ラングロッド合劑

世界無比　汽罐保護液
Registered Trade Mark.
LLANGRHOD
專賣特許　ラングロッド合劑
○本液は汽罐として總ての特性を具備し汽罐使用上より起る難患を根本的に救濟し且つ本液中に含有する成分は熱の爲めに金屬との親和力により汽罐內面を「エナメル」性に化す
●○「エナメル」性發生の後は錆水の惡作用及「スケール」の附著は絕對に防止せらる
●一度試用して其眞價を驗せられよ
◎"し"印ラングロッド合劑
△鐵道機關車汽罐專用有之候▽
直輸入日本一手販賣元　神戶市榮町五丁目四十九番地　菊池商店
特約販賣店　京城南大門通五丁目　木村商會　電話一三六四番

●支那食糧補給計畫

支那政府は聯合國の食糧補給の爲め全土の農産物を開放して聯合國へ輸出すべき計畫あり追て具體的に實行方法實現さるべし（北京特電）

●米政府獨改革希望 聲明

米國政府は聲明して曰く米國は事實上ホーヘンツオルレン家の排斥を主張するものに非ず又必ずしもカイゼルを排斥するものに非ず單に獨逸國內の改革を希望するものなりと（華盛頓電報）

●獨軍ド要塞威嚇

獨軍バイエルンレオポルト親王の麾下に屬する部隊はドヴイナ河を渉りドウナメスクを威嚇したるを以て露軍は同要塞を破壞して退却せり（桑港電報）

●リガ戰捕獲公報

伯林公報は主張して曰くリガの占領に方り獨軍は數千名の露國將士を俘虜とし且つ砲百五十門を鹵獲したり猶ほ目下獨軍は露軍を北方に壓迫しつゝありと（桑港電報）

●米國募集兵入營

米國の第一回募集兵は全國に亘り五日入營したり（桑港電報）

●公使團承認と露公使

北京各國公使團は關稅增率を承諾することに一致せるも獨り露國公使のみは未だ此件に關して本國政府の訓令に接せず又團匪事件賠償支拂五箇年延期の件も各國公使團は之を承認せるも露國公使は賠償金三分の一に對してのみ延期せんとの意嚮あり猶ほ伊太利公使は伊太利租界に對する支那の要求を撤回したり（北京特電）

●鹽稅剩餘金引渡決定

九月六日四國銀行團は鹽稅剩餘金三百四十萬弗を支那政府に引渡すことに決定したり（北京特電）

●外交調査會 開會

來る十一日外交調査會を開會する筈なり（東京特電）

●本郷中將赴任

新任青島守備軍司令官本郷中將は七日京城北九にて門司發赴任せり（門司特電）

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○予は常に思ふ、南北朝時代に於て、若し代表的人物を求めば、帝王としては、恐れながら後醍醐天皇、武將としては、足利尊氏、僧侶としては、夢窓國師の三人ならむ歟と。而して其他は寧ろ第二流以下ならむ。

○太平記は後醍醐天皇に向て、十分なる公平を盡さゞるに似たり。然し天皇は、御歷代の中に於て、傑出の御一人にて在せし也。其の雄邁は後鳥羽に過ぎ、其の英明は後三條を凌ぎ給へり。而して建武中興の業、半途にして沮敗したる所以は、必ずしも天皇の失德のみと云ふ可らず、輔弼其人なく、勢不可なるものありしを以てのみ。若し公明なる史家出でなば、必らず天皇の爲めに、其冤を雪ぐの日ある可し。

○足利尊氏が、罪を名教に得たるは、百世の下、固より容赦の限りにあらず。吾人は彼を逆賊とするに遲疑せざる也。されど此れと同時に、彼も亦た偉大なる日本人たりしとを、看過す可らず。彼が後醍醐天皇に向て弓を彎きしは、彼が一生の大罪過也。是れ猶ほ南洲が、新政厚德の旗を翻して、薩州より打て出でたるが如し。

○尊氏は個人としては、非常なる勇者にして、命を何ともせず、且つ天性無欲にして、何物も自から私せず、只だ人に與ふるを、樂みとしたるが如し。尊氏を南洲と較論するは、頗る不倫に似たるも、然も廣寬を語れば、彼の人格は、頼朝、若しくは家康よりも、寧ろ南洲其人に、接近したるものに似たり。

○彼が如何に人望の集點たりし乎は、其の臨終に、歸參者を得たるを見て知る可し。彼の知己とも云ふ可き夢窓は、仁山を詠じて曰く、

怨親高高非一岩、樹功不害孤峻在、其中此峰不留難、人仰此峰只是衆

仁山は云ふ迄もなく、尊氏の道號也。而して記者は、尊氏の人格、殆んど此の二十八字中に盡せりと信ぜずんばあらず。要するに彼の門地と、聲望とは、彼をして餘儀なく武家方の代表者たらしめ、以て公家政治に反抗せしめたるのみ。是れ豈に彼の素志のみと謂はん哉。

●京畿春蠶狀況

大正六年度京畿道管內に於ける春蠶狀況を聞くに飼養戶數二萬五千三百九十六戶にして掃立枚數三萬一千零九十八枚に達し收繭額六千六百六十九石を算せり之を前年度に比する時は飼養戶數に於て三千七百十二戶掃立枚數に於て五千三百二十六枚を增加せる譯なり而して京城府に於ける飼養戶數及掃立枚數前年に比し減少せしは五蛾乃至十五蛾の飼育者多數見合せたるものあるに因り又高陽、楊仁、振威、始興各郡の飼育戶數減少せしは個人の內飼育を見合せたるものあるに因り其他の各府郡に於て飼育戶數並に掃立枚數何れも增加せるは奬勵の結果に因るものなりと而して京城、仁川、振威、高陽、驪州、江華の一枚當收繭高比較的少きは中途桑葉の不足を生じ又は病蠶の發生せる地方ありしに因れるなり

●工業地たる平壤（上）

別府特派員

□事業家の注意茲に集まる□

□朝鮮の工業中心地

平壤より鎭南浦に至る大同江畔の平地は概ね不斷活動する工場に埋められ林立せる煙突を見るに至るであらう、而して其の時期も餘り遠くないなど說く人もある、成程幾世紀かの遼遠な後世をならばいざ知らず、近い將來では其の風の說を一種の波たる想像だと云ふ門外に記者は多くの價値を見出さぬ、然し今も昔も鮮人事業界の注意は殆んど平壤を中心とした地方に集中されし觀がある、又事實目覺しい新事業は大部分平壤地方に計企されてゐる、之等の關係は平壤地方が朝鮮工業の中心地たる素地を有し、內國に於ける阪神地方のやうな位置と實力を、半島に於て占むるのではあるまい乎、記者は平壤に興れる新事業を數ふるに先立ち其の何故に半島の工業中心地たり得るやと云ふ點を簡單に記述しやう

□工業地としての平壤

平壤に於ける最近の事業計畫は陸續として戰亂の好影響を受け內地財界に充溢した資金の一小部分が平壤に吐き口を見出したのである、唯何故其の吐き口となつたかは乃ち平壤の有せる工業的素地であらう、其の特色は二三を數ふるも（一）平壤附近は滿洲の市場に近く又鎭南浦を通じ北支那方面との連絡もついてゐる、大陸的に活動するには地の利を占めてゐる（二）工業用の燃料たる石炭は其の附近にも生產し、又之れを撫順よりも距離の關係上他地に勝つてゐる（三）工場敷地とすべき土地も廣い（四）工業用水は大同江の旺流により缺乏を來さない（五）勞力も平壤は朝鮮第二の鮮人都會であり、集むれば大抵の工場新設には必ずしも不足しない（六）工業上の原料たる例へばセメント事業には其の土、甜菜精糖には地質、耐火煉瓦には用土等に富んでゐる先づ之等の點を數へねばならぬ、之等の特色は近時平壤の事業界を活氣立たせたる主要原因と見て大過はあるまい

□興隆せる新事業

平壤の事業界と云へば、平壤其の土地に起つた事業のことだが、其の土地の事業の外、平壤を中心とせる地方企業の進行により其の市況を活氣立たせたと云ふ事も、平壤の事業界を見るに逸してはなるまい茲に平壤にて既に着手し又着手せんとする新事業並に擴張の主なる者を舉ぐれば

朝鮮甜菜精糖	五〇〇萬圓
小野田セメント分工場	約一〇〇萬圓
陸軍兵器製造所	四〇〇萬圓
朝鮮無煙炭會社	三〇〇萬圓
朝鮮肥料工業會社	一〇〇萬圓
平壤鑛業所擴張	二九〇萬圓
耐火煉瓦製造所（個人）	不詳
平壤製粉工場	五萬圓

先づ右のやうなもので、朝鮮甜菜精糖は本社及び工場の建築に近く着手し、大正七年秋より其の製品を出すべく、小野田セメント分工場は目下工事を進行中にて明春より製品を鮮內に賣出し、陸軍製造所は幾何日を出でず起工し、又朝鮮無煙炭會社は江西郡で[illegible]既に粉の製造を主とするもの先月から採掘に着手してゐる、朝鮮製肥は骨肥を初め、平壤鑛業所は今明年度の繼續事業として近く擴張に著手の筈、又朝鮮唯一の耐火煉瓦製造所は製肥工場の橫手で其事業を開き製粉工場は今秋から製粉をやるやうである以上の中に地方實業で平壤に關係して居るものは[illegible]鎭南浦の久原精煉所等を擧げねばならぬ

□見込んだ朝鮮景氣

之等事業界の興隆に伴ない平壤は盛んなる景氣を呈するに至るであらう、[illegible]記者は其の盛んな有樣を數字で現はすことをしないが[illegible]

●製粉合同成立

工場は鎭南浦

滿洲製粉と朝鮮製粉及び杉浦氏の製粉計畫合同談は豫て三井物產京城支店長高野省三氏中間に立ち斡旋中なりしが久しく紆餘曲折を重ねたる末遂に三者の互讓となり茲に其意向合致し合同成立を見、七日總督府に會社設立認可申請をなすに至れり同社は朝鮮製粉株式會社と稱し資本金は百萬圓とし工場を鎭南浦に設け一日三百バーレルの生產をなすことゝせり其の筋の認可指令あり次第創立總會を開き諸般の施設を進むべく同社重役は未だ決定せざるも社長には[illegible]、專務には原田太郎氏、常務には杉浦其作氏之れに任ずるに至るべしと

●朝鮮穀物大會

本年三月仁川に開かれた第一回朝鮮穀物貿易商大會の決議に基き今回三井物產支店、鈴木商店、[illegible]等の諸氏相謀りて、同大會を本月十五、十六日の兩日に亘り京城に開催する事となり[illegible]各地に通知を發し同時に內地各重要都市に於ける當業者に對し代表者の出席斡旋の事を求めたるが、同大會に出席すべき當業者は京城を首として各地より五十餘名の豫定なり[illegible]

●舊特定運賃廢止

十月一日より滿鐵京管局に於ては大貨物特約運賃の實施をなす結果九月末限り內國通運三井物產共益社其他五社との間に締結されゐたる大貨物運送特約運賃は九月末日限り廢止せり

●地査委員會

七日午前八時三十分より總督府第一會議室に於て國分司法部長官統裁の下に高等土地調查委員會を開き土地查定不服申立に關する件を審議し十一時散會したり

●炭疽豫防注射

京畿道にては仁川郡管內に對し二十日間の豫定にて今八日より炭疽豫防注射を施行すべき豫定なりと

●鮮人青年採用

京城高等普通學校卒業生[illegible]の三氏は今回關東都督府臨時通信事務員に採用せられ八日出發赴任の豫定なるが尙ほ外一名も近々採用さるゝ筈なり近時教育を受けたる朝鮮人青年の活動漸次範圍を擴張せらるゝに至れるは喜ぶ可し

●鹽澤警務部長檢閲

京畿道警務部長鹽澤警視は神崎警視外四名を隨へ七日午前出發楊州漣川兩郡內分隊及び分遣所檢閲の爲め出張せり來る十一日歸任の筈なり

●河野大佐歡迎宴

京城官民有志の河野大佐歡迎宴は七日午後七時朝鮮ホテルに開催立花師團長、宇佐美內務長官、國分次官、古海總監代理[illegible]其他民間有志五十餘名の出席あり[illegible]

●河野大佐出發期

河野大佐は豫定の如く八日午後九時四十分南大門驛出發（八日朝出發の筈なりしを延期す）渡歐の途に就き最初露西亞の戰線に向ふ可しと

●高見技師農況視察

高見技師は水原、龍仁、利川、驪州、安城、振威の六郡內に於ける農況視察の爲め往復七日間の豫定にて七日出張せり

●陸鎭元氏服喪

多年內地滯留中なりし陸鎭元氏は嚴父の訃に接し六日歸鮮せり同氏嚴父の葬儀は九日午前六時內資洞二百卅四番地自宅出棺[illegible]に埋葬すべしと

■仁川短信

▲八月中貿易　仁川港に於ける八月中の貿易額は輸移入百廿七萬八千三百二十一圓輸移出百六十四萬六百四十七圓合計二百[illegible]四萬八千八百六十八圓にして內重要品の貿易額は輸移出品に於ては米九萬圓大豆九萬圓煙草五萬圓移入品に於て食鹽四萬八千圓砂糖八萬五千圓石油十三萬二千圓金巾シーチング九萬五千圓生金巾シーチング八萬圓絹織物十四萬圓等にして一般に夏枯狀態なりし▲奧田前府尹　東上中なりし奧田前府尹は六日朝東京發途中大阪神戶に立寄り仁川歸着は數日後なる可しと▲植野府尹　仁川府尹病氣療養中の處快方に赴きたるを以て七日歸仁す

人事消息

▲中西喜久男氏（平安南道保安課長）十日夜入京不知火へ
▲山本好雄氏（咸鏡南道保安課長）同上
▲森格一氏（光州憲兵隊副官）同上不知火へ
▲秋田清氏（全羅南道保安課長）▲伊藤[illegible]氏（同上）七日入京朝鮮ホテルへ
▲鶴田佐一郎氏（咸鏡南道保安課長）同上
▲岩崎虎太郎氏（全羅北道保安課長）七日入京不知火へ

■百聞百種■

リガの陷落は何と云つても歐洲戰爭に興味を以て見て居る人々には頗る重大視せらるゝ▲其の陷落と共に獨逸の海軍は早くもリガ灣に這入つて來た▲之れから陸海共同の攻略を始めるかも知れぬ▲獨帝も戰線に出掛けて來たと云ふから愈々以て露都は危ない▲獨軍は最後の努力を此の方面に現はすかも知れぬ▲英佛軍でも大分[illegible]露國を救濟するには西部戰線の攻擊を一層有効ならしむるより他なしと悲觀の模樣も見ゆる▲露軍が昔のやうでもないが[illegible]し內政は紛擾を重ねて居る今日▲露都の猛襲を見事に喰ひ止める事が出來やうか▲飛行機は[illegible]露都の陷落[illegible]▲露都がクロンスタツトを占領したら何うなるのか▲萬一にして獨逸艦隊の大襲撃があつたが其の後は何うなる▲露都は其を得ない▲遷都もよいが何としても露都の死命は敵に制せらるゝ事になる▲最も露都は[illegible]東洋方面から歐洲に行く唯一の陸上連絡路は我滿鐵線から東淸、西比利亞線を經て露都へ出るので▲露國本國線を通つて露都へ出る交通は最もオジヤンだ▲大西洋の獨潛艇は[illegible]▲世界の交通も[illegible]夢の樣な話だが[illegible]露都が[illegible]退せねばよい

交替守備兵

[illegible]歐洲戰爭に於て[illegible]したる磯部少佐[illegible]

博士來邸

今回史蹟調[illegible]

光州

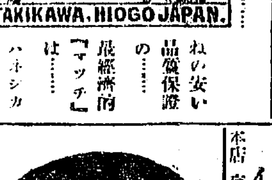
▲守備隊一泊行軍[illegible]

●商議評議員任命

[illegible]

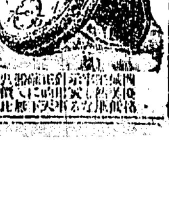
京日案內

▲精米所に雜役夫入用　京城府[illegible]
●男女事務員二名入用
●男女事務員に四名入用
●金融　花園町八七　大和屋質店
洋犬　紛失　電話五九四
女事務員入用
風船　寶月
ルデサック
●鑛物各種分析　松永分析所



マッチは…タキカワ（ハネシカ）に限る　最經濟的の品質保證の安いね　京城本町　羽鹿燐寸　森久本店

安心の出來る靴　廣告
ボックス皮製編上　一號金三圓五十錢　二號金四圓五十錢　三號金五圓五十錢　四號金六圓五十錢
ボックス皮製總型　一號金三圓五十錢　二號金四圓五十錢　三號金五圓五十錢　四號金六圓五十錢
ボックス皮製深ゴム　一號金四圓五十錢　二號金五圓五十錢　三號金六圓五十錢　四號金七圓五十錢
右は精撰せる材料を以て熟練なる技術と御注文の細かな御好みに依り製作致し候
日野製靴店



新荷著　懷中時計　イングレッシー商會　京城本町二丁目

最上醬油　朝鮮仁川港　高杉醬油釀造場

陸奈本用鼎氏[illegible]

李王世子 近く陸軍少尉に

◆世界無比の精鋭と稱せらるゝ我が日本帝國の軍隊を指揮する將校と成らせらる◆

李王世子附事務官 高羲敬子談

李王世子附事務官高羲敬子は目下東京より京城に歸來し朝鮮ホテルに滯在中なるが世子の御近況に就て語りて曰く

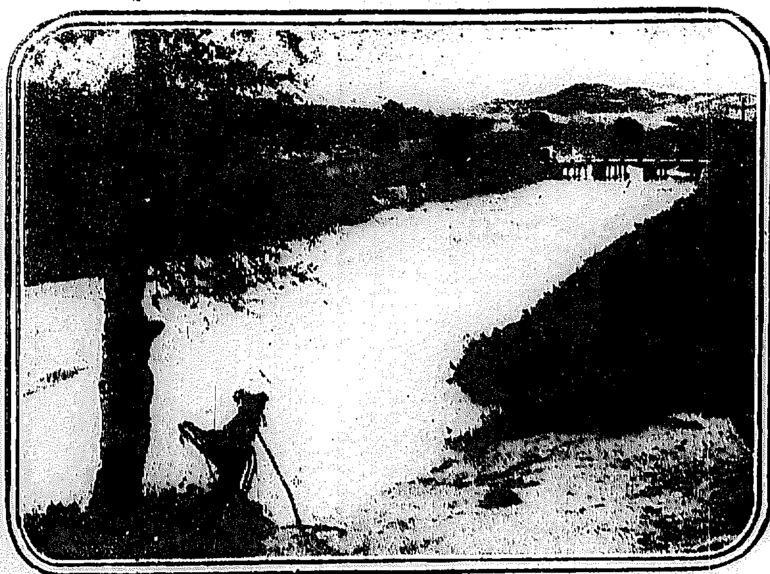
子は李王世子附となり殿下に侍して内地に居る事既に十一年に及び家族一同も内地に居住し居れり殿下は近來益々御健全に成長せられ幼少時代より毎に傍を離れず從ひ居たる身に取つては喜び此の上もなき事なり殿下は

◇七月中炎暑を冒し て富士の裾野に於ける演習に從ひたる際一日三島の別莊にて休息せられたるのみ他の見習士官と同樣に軍隊内に起臥せられ入隊以來新兵教育に當られ御自分から教育計畫を作成せらるゝ等單に一將校としても敢て他に讓らざる天晴の手腕を有せらるゝに至れり九月六日より又習志野方面の演習に出發されたるを以て今頃は定めて雄々しき活動を爲され給ふべし今後は殿下の御身の上に

◆御悦ばしき事の重 なり來り誠に目出度き限りなり來る十月廿日は殿下の御誕生日にて殿下は滿二十歳の丁年に達せられ單に男子としても一人前の年に成り給ふ悦ばしき上に本年十二月には任官して陸軍少尉と成らせられ

世界無比の精鋭と稱せらるゝ我が日本帝國の軍隊を指揮する將校と成らせらるゝ事となりたり昌德宮李王殿下と王世子との御仲は御幼少の時より親しく世の人々の模範とするに足るべきものあり六月昌德宮殿下御東上の際世子殿下は名古屋迄御出迎あり

◇兩殿下は五年振りの 對面にて限りなき悦びの情を述べられ昌德宮殿下御滯在中は毎に御訪ひ申し上げ夜の十一時に至る頃まで種々の物語り盡きせず何くれとなく四方より物語り申上げられ殿下は京都まで御見送りの折り御別れ申上げられたるが世子殿下には一別し淋しく成つた」と云はれて名殘惜しげに何時までも御見送り遊ばされたる折りは我等まで何となく涙ぐまるゝ程なりき



◆新凉の大樹蔽ふて水豊か（安田川にて）

山東土匪猖獗

▽討伐戰頻りと行はる

山東に於ける土匪大討伐計畫更施後各所に於て討伐戰頻りと行はれつゝありて八月に入り濟南附近のみにて土匪被害は十六箇所に達せり濟南を北方に距る約三十五哩の地點に在る禹城驛と其北方平原驛の中間に去る二十六日午後大部隊より成る土匪の一團現れ被に良家を襲ひ大掠奪をなせるより當年は禹城驛駐屯の第三聯隊第三營員（元周村革命軍にして[illegible]の部下）に是が討伐を命せるに何故か命令を肯せず頭へ手當を要求し甲て土匪の態度をせまじき勢を示せるに依り督軍府よりは直に濟南駐屯の第十八師兵二ケ營を廿七日夜の臨時列車にて繰出し一先取鎭をなしつゝあり一面には第三聯隊の第三營は元より該土匪と聯絡し土匪中に該營兵士ありて既に土匪に組せりとも稱へられつゝあり且又去る二十七日天津を發せる旅客列車は平原驛を發し禹城に向ひ中間に指驅りたる頃沿線近く鐃鈸盛んに傳はり民家より黑煙の上り居るを眺め直に引返して平原驛に引し該土匪の引揚ぐ間約三時間停車せり又後より來れる貨物列車も之が爲め同驛に停車し十一師長陳光遠氏を初め同幕部等を乗せたる團用列車も之が爲め同驛に於て三時間餘停車し後發車浦口に向へり斯して土匪の跳梁は尚ほ盛んにして容易に討滅せられざるべし（濟南電）

平壤繁榮記念祝賀會

稀有の賑ひ

平壤實業協會主催の平壤繁榮記念祝賀會は平壤商業會議所設立の下に紀念祝賀會なる名稱にて七日午後四時平壤歌舞伎座に於て開催せられたり繁榮記念會委員長大橋商業會議所會頭の式辭に次で工藤道長官の祝辭あり上商業會議所書記長は阿部本社社長並に毎日申報社其他官民よりの祝電を朗讀し終つて立食の饗應に移り餘興として妓生の舞踊及び藝妓の手踊り神田祭りあり同六時散會したるが來會者七百餘名に達したり此の日市中は各戸國旗球燈を掲げ山車を出し又た各町の裝飾行列及び自轉車競走等あり非常なる盛況を極めたり又た午後七時より市民の大提灯行列あり尚ほ大橋期成會長の名義にて山縣元帥、寺内首相、上原參謀本部總長、東京府廳、提理宮田中將及び當路の大官に宛て祝電を發したり（平壤支局電話）

偽手紙で大金 共謀して騙取

忠南論山郡西面南田里羅鍋鍍（[illegible]）羅明九（[illegible]）は知己なる同面澤洞里李衛商中根鍋が取引先なる平壤の呉鳳達及び李某の兩人と多額の取引をなし居るを平壤の兩人に厚く信用され居る事情一切を探知し之れを奇貨として前記兩名より騙金せんと企て兩名は群山榮町飲食店林鳳俊方に潜在して中の偽手紙に偽造の印を押捺して中の名義を利用し送金方を申遣りて中の中より二千圓を[illegible]

慶北各地水害

▼洛東江增水一丈九尺

九月三日來の豪雨にて慶北に於ける水害狀況に就いて五日迄に慶北警務部にて調査したる所に依れば

▲尙州郡にては三日午後より漸次增水して各河川は六七尺の增水となり尙州に於て洛東江は一丈九尺を增水し四日より各地への交通不能となり自動車馬車等は數日後ならでは復舊の見込みなしと

▲醴泉郡にては渭川增水して遂に川橋流失し爲めに安東、尙州、榮州等の各郡との交通杜絶したり

▲榮州郡にても各河川約六尺增水し漆谷郡倭館にて洛東江は五日午前八時一丈五尺の增水となり各地への交通杜絶したり

◉小兒と自轉車

五日午後四時四十分頃京城府樓洞二十二番地李鍾俊（[illegible]）が西大門町一丁目百三番地先を自轉車にて疾走中路上にて遊び居たる通洞趙鍾洵の三男（[illegible]）を突き倒し左腕腰部に輕傷を負はせたり

店員三名共謀して大金横領

元山本町二丁目に藥種商を營む石田卯之助（[illegible]）は大正四年十月十一日附にて藥品及び藥品取締規則違反として其の筋より營業を禁止されたるも相當手廣く營業中なるより藥劑師として雇ひ入れある小野八十郎（[illegible]）に對し表面上同店の名義を讓り其の儀にて同人に讓り渡し自己は大正五年一月より郷里大阪に歸省し療養中なるが如く世間を裝ひ其の實相變らず數名の店員を除に指揮して營業を繼續中店務を擔當し居れる店員等は主人不在を奇貨とし翌月なる大正五年二月より本年五月末迄の間に賣揚代金其他の物品を着服するに至り小野は約三千圓又店員友田利三郎（[illegible]）は千七百圓多田五十吉（[illegible]）は約二千圓合計七千二百餘圓を横領したることを郷里の石田店主が探知する所となり其の筋に告訴したるより元山警察署にては八月二十四日手配したるに早くも感付きたる小野は金員を攜帶して姿を晦ましたるを搜索の上逮捕し他三名の店員も逮捕され目下取調べ中（元山）

◉京春間の道路

京城、春川間の道路は假修繕を施行し昨今交通は差支無きも自動車は途中難所をなして交通をなしつゝあり

◉殷汝耕氏の結婚

來朝中の殷汝耕氏は寺尾博士の媒酌にて井上美枝子と結婚の約成り九日帝國ホテルにて其の典を擧ぐることゝなりたり（東京電話）

◉平木間自動車不通

江原道平康、[illegible]間の自動車は去る一日豪雨の爲め道路破損當分運轉の見込なし

◉電話で火災報知

[illegible]

◉銀が騰つた

◦◦◦五十錢銀貨が一錢六厘になる◦◦◦

銀の倫敦相場は四十七片に昂騰したに依り日本の大形五十錢銀貨の標準相場は一個に付き卅一錢六厘の騰貴である。で卅二片十六分の十二に比較すると假に若し好物があつてこれを鑄潰して地金とすれば

▽四割以上の利益を占める譯である、更らにこれを小形の新銀貨四十三片十六分の十一に比較しても遙に地金とされる虞がある、銀貨の暴騰した原因は戰爭の爲め通貨膨脹に從つて補助貨の增鑄と支那印度等の銀貨本位國の需要が激增したるのと銀鑛に於ける出産減少（戰爭の爲め勞働者の不足）輸出禁止等に原くのである需要の增した上に

▽産出が減少 したとが根本の原因である、それに眼先の關係としては一部の買占めも關係したと思はれる、這回大藏省令で銀貨及び銀地金の輸出を制限したのは行過ぎであつて省令によれば外國へ旅行する者は五十圓以上の銀貨を携帶するを許さぬ、日本の銀貨を地金として鑄潰した者は三箇月以下の懲役及び百圓以下の罰金に處せらるゝ事となつた

▽これが朝鮮に於ける影響は別段大した問題ではないが銀貨本位國なる支那との貿易には非常な關係がある。即ち日本から支那への輸出は非常な有利な地位となつた譯である、猶ほ朝鮮に於ては昨年頃から地方に補助貨の不足があるやうだがこれは右の銀塊相場の暴騰よりも寧ろ鮮銀行券發行の膨脹した結果であると見て目下の朝鮮銀行券は約四千五六百萬圓の

▽發行增加で あつてこれは補助銀貨と比較する時は從前に於て同一でも割合に於て少くなつてゐる、即ち從前流通の銀行券に對して目下は補助貨二割の割合であつたが目下は一割五分となつてゐる

うわさ

▲これまで水原から驪州まで十八里間の自動車が運轉中のところ這回また水原、驪州間の自動車が出來た▲それに一日八回の往復の自動車が出來る水原は今に自動車攻めになるといふ噂▲西瓜や林檎が盛んに出る、水屋は夙のむかしに賑つたが[illegible]

るじうつくよ ズラナニセク
健通丸
▼健通丸が重要視せらるゝ譯▲
便秘症の人は胃病を起し腸を犯され頭痛神經痛に罹り或は婦人病を重らす其害毒は甚だ恐るべきである
健通丸は此恐るべき便秘症に對し驚くべき効能を有するが故である
各地藥店にあり
本舗 大阪市 参天堂藥房

お衣裳の保護は奥様の責任
ゼヒゼヒ鍾馗印をお忘れ遊ばすな!!
各地藥店にあり

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

訂正增補 大審院法院 飜譯 通譯生山之井麟治氏著 受驗者の必備書
鮮文 普通文官應試提要
第六版出來

横濱 純牛乳 ニツソ 石鹸 洗粉
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五番

中風病
梅毒下疳横痃切疵腫物痔疾等の良藥 本舗大阪 中井馬製 定價五錢拾錢

英國倫敦イーラスミツキ會社製造
化粧品新荷到着
石鹸＝ビヤレス エジプト タキシバス 外二十五種
テスコ コールドクリーム
藥用石鹸＝カルボレーキ ホワイトロー
香水＝イーラスミツキ ランジヤン ラン
カスタ ヒメリヤブゲー 外十種
結晶香水＝クリストル
香油 白粉 各數種
英國イーラスミツキ會社代理店
朝鮮滿洲總卸元
大連市伊勢町四十八番地 田中洋行
特約店又は小賣店は各地到る處に在り

櫻御殿

第九回　大阪殿の家主人

小山の軍評定（六）

「近う、近う」と正則は清之丞を側近く呼んだ、清之丞は進み出て平伏する、明け放した縁側から、夜の風がそよ／＼入つて、短檠の火が靡いて搖ぐ

「呼び出したは別儀でない、今から伏見へ參りくれぬか」

「仰せ付けとあれば、何處までも參ります」

「伏見には金吾中納言（小早川秀秋の事）様在らせたまふ、その御陣へ參るのぢや」

「心得てござります」

拷問に掛らうとも、自殺しよう要はあるまい」と隨分怪酷な事を命じた

喃、もし中途で敵兵に捕へられることがあつたら、そこで舌を噛み切れといふのである、舌がある、と、自殺する虞れがあるが、舌さへ無くば何樣拷問に掛つても、自殺するには及ばぬといふのである

「畏り奉る」と清之丞は惡びれた樣もなく答へた

「君に捧げた一命でござります、お役に立つて死ぬるを此上もない光榮と心得まする」

それが恥しく大阪の所存か、今度の旅上には陽に同心と見せかけて、陰に家康へ傾いて居た、已に伏見城を征伐するとき、鳥井彦左衛門へ内通しよう形跡も見えたので、三成初め上方の諸大將は、金吾中納言の動静に注意を注けた、もし金吾の一擧に瞬間の破裂を見ることがあつたら、それは金吾殿の陣であらう、といふので、大谷吉隆や宇喜田秀家などは「今の中に潰つけて了ひませう」と迫り立つたが、その中に金吾の遊説となる、伏見の一戰に利を得てから、西軍の勇氣は百倍する、金吾中納言は三成初め二心なき誓文を出しながら、面白からぬ態度をして軍を進める

この中納言の行動は、關東の諸軍へも響いて來た「金吾中納言はどうやら此方の味方らしい」と皆が思ふ

正則は蜂須賀とは格別懇意を結んで居た中納言とは親戚關係もあり、勞なするので「今の中に彼の大將を此方の陣に入れて置くは、味方の勝利を得るに於てどれほどの利益かも知れぬ」と思ひ付いて、これを直ちに實行しようとした、清之丞が大事の使を命ぜられたは之の爲めである

正則は清之丞に計畫を打明けた、清之丞は胸を叩いて

「御趣旨は承はります、然る上は

「最も火急を要する儀ゆゑ、すぐ發足せよ」

清之丞は委細を心得て座を立つた

當時已に伏見の城は燒討せられて、鳥居彦左衛門は戰死する、大阪方の先陣は一面伊勢に入り、一面近江路から美濃に入つて、早くも岐阜加納に軍を進めようとする風聞もある、その戰地を經て、伏見城へ使するのは容易の事で無い、正則がこの至難な使者として清之丞を選んだのは、清之丞の技倆の群を拔で居る事が分る

清之丞が用意をする中に、正則は金吾中納言に宛てた手紙を認めたが道中不慮の事があつてはなるまいと思ふので、すぐ燒き捨て、清之丞を側近く招いた、清之丞は正則の口上を耳を寄せる、正則は今日の使命の容易ならぬ理由を説いて後

「萬一の時は、この舌を噛み切るのぢや、可いか、舌さへ無くばいかな

「謹し、さらば大事を申し付ける」

正則は容易ならぬ事を云つた

金吾中納言は小早川隆景の養子で幼名を辰之助と云つた、實父は秀吉の政所がねへの方の兄木下肥後守家定（政所は杉原氏、助左衛門といふ）であるから、政所には甥に當る、然も政所には子がないから秀吉に望んで養子とした、夫に由つて朝鮮征伐の時には、總軍の大將を命ぜられて、十六萬三千餘人の指揮をする、諸大名三位權中納言に任じ、太閤の寵顧を受けて居るのも、偏に太閤及び政所の恩であるから、假へ僧かる合利になつても、大阪の不利になるやうな事はせぬ答である、併し三成その他の行動に、多少氣に入らぬ事はあつても、秀頼の側近く惡魔の手助けをするやうな不義の振舞ひはない答である

わたくしの命にかけて、只今の御口上を傳へるでござります」と答へた

「中納言殿の返答は、清洲の城へ入つてから聞く、彼にて待て」

清之丞は委細を胸に承知して、正則を伏し拜くと宇都宮を立つた、そして有らゆる困苦と艱難とを經て、金吾中納言と大津の陣で會つた、中納言は正則の口上をつく／＼聞いて後、深く光る目を四邊に配りながら、清之丞の耳に口を寄せて、即座に諾との返答を與へた、清之丞は畢竟で直ちに清洲へ取つて返したほどに歡んで敵の城を乘り取つた、

此の時家康の大軍は東海道を上り秀忠の軍勢は東山道を取つて、半分以上も軍を進めた時であつた

印章ゴム　製本印刷　名刺印刷　京城本町一丁目　千代田號　[illegible]

日報俳壇

若葉　左　判

若葉の陰に躑躅る選手等　同
ふる陣で行く川倉路の若葉　歌津女
若葉陰祇直く千世代立つ　山與水
ガラス窓が輝く若葉の夕陽　同

蝉　想　仙

蝉の石炎如たる緑や竹の月　同

実　杏

実宅に見の泣く蝉や紅芙蓉　同

句謡りを蝉の腹痛かす　同

蝉　吉象

草の穂の傾く見れば子蝉哉　同

暑さ

蝉茶屋の枇杷葉湯や蝉涼し　同

乘合馬車支那人が居て客品　同

宿

道帯や蚊帳に蝉寄る猫淋し　月小夜

氷寶

床屋の椅子に眠る午後の氷寶　同

一〇一句

通更抜鞭笛が冴し來た涼み　黄丘
書架に散らく梅雨晴の日ざし　湘村

新刊紹介

▲日本一（九）[illegible]
▲幼年の友（九月號）[illegible]
▲東洋文藝（九）[illegible]
▲實業法律（八の九）[illegible]
▲日本警察新聞（四四）[illegible]
▲朝鮮氣象九年報 [illegible]
▲朝鮮金物貿易新報（八）[illegible]
▲早稲田學報（二七〇）[illegible]
▲英譯叢（一〇二）[illegible]
▲ジャパンタイムス學生號（五）[illegible]
▲實生活（九）[illegible]

讀者文藝

▲昌徳宮通りの市區改正は誠に結構であるが、世間で又橋を架けて居る又大な橋が架かつては水害の度を増すばかり [illegible] ▲市内諸金町某號 [illegible]（惡癖生）[illegible] ▲新給の制度及び居る [illegible]（後悔生の一人）

（特製猫形圖）（大形猫形圖）

新案特許＝純良護謨製　大阪　宗田商店鑑製

ミツワ水枕

凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可からず

定價　大形　金壹圓　中形　金八拾五錢　小形　金七拾錢　特製　金貳圓

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものであります＝學生が勉強して疲れた時などは水枕をすれば忽ちに元氣を快復します。

ミツワ水枕は枕の内に側壁を設け、中へ氷水を入れると自然に四字形になるやうに製してありますから、左右に揺れたりチヤプチヤプしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。

尚金も又多年苦心の結果漸く案出したる、極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。

ミツワ水枕

艶澤で、經濟で、而して最も優良な

三百番香水

定價　各種一打　小壜入　金五十錢　中壜入　金一圓五十錢　大壜入　金二圓五十錢

種類　ヴァイオレット　ローズ　リリー　ムゲット　ミモサ　ブーケー

◎三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。

◎香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として六種の香を選びました。

◎香水は折角高價を拂つて求めても、其の香が嗜好に合はない場合が多いのであります。

◎小壜の見本を添へてありますから、御嗜好に合ふものを御使用になる便利があります。三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

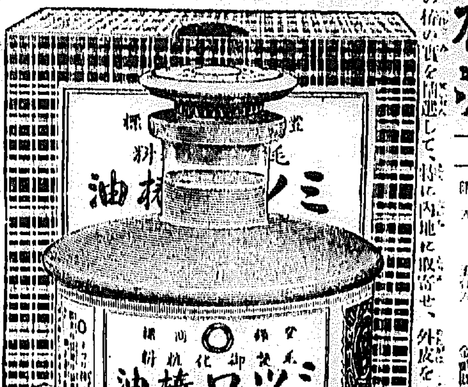
蒸した椿の實の皮膜を去り、冷脈法を以て搾取したる毛髪の衛生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

ミツワ椿油

定價　ポ壜　金貳拾錢　中壜　金參拾錢　大壜　金五拾五錢　[illegible]

◎ミツワ椿油は製造法を改良し、新鮮の椿の實を精選して特に内地に取寄せ、外皮を悉く取去り、冷脈法で少しも熱を加へずに搾取したもの故に、腐敗しべき臭氣を發する酸や、含窒素物等を含んで居ない新鮮純良な椿油である。

ミツワ椿油を毛髪に塗用して居ると毛髪に滲込む力が強いので [illegible] 何時も艶々しい [illegible] 抜毛などの憂ひは決してないのである。



醤油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醤油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

最上醤油　（キハク印）

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

富の道しるべ　山崎五十雄・村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢　京城日報社代理部　振替三〇〇番

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行
和泉丸　九月廿八日　正午出帆
高砂丸　九月十七日　午前十二時出帆
三河丸　九月十七日　正午出帆
仁川濱町　[illegible]　同出張所

尼崎汽船仁川出帆
○大阪行（釜山、木浦、下關、神戸經由）
大湖丸　九月十七日　午後四時出帆
大有丸　九月十一日　午後四時出帆
仁川港濱町　尼崎汽船　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　九月十六日午後五時出帆　立神丸　九月廿七日午後五時出帆
○元山、清津、雄基行　和歌浦丸　九月廿六日午後十時出帆
○立神丸　九月十五日午後四時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　三保丸　九月十五日午後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　[illegible]
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港　大池回漕部

共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行　第十共同丸　九月五日午後入港　九月八日午前十時出帆
本町四丁目（電話一七三番）　仁川代理店　野口商會　元山代理店　[illegible]　京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社　[illegible]
○京城より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず）
×京畿丸　九月廿三日　忠清丸　九月九日　×咸鏡丸　九月十八日　平安丸　九月十四日　釜山發
○元山より各地經由雄基行　忠清丸　九月十二日　咸鏡丸　九月十五日　三陟丸　九月十一日　元山發
○新浦行（元山より各地經由）　平安丸　九月十一日　元山發
○元山長箭線　咸鏡丸　九月十四日　忠清丸　九月二十日　成鏡丸　九月廿三日　元山發
○釜山元山間　慶寶丸　九月十日　釜山發　九月十四日　元山發
○鬱陵島行　蔚山各地經由　[illegible]丸　九月　日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）　江陵丸　毎日　釜山發
○濟州島行　長承浦麗水巨文島經由　昌平丸　九月十一日　釜山發
○麗水行（各地經由）　濟州丸　統營丸　五日毎　釜山發
○木浦麗水間　天安丸　順陽丸　三日目毎に　木浦發（麗水にて釜山行接續）
○木浦より濟州島行各島經由　西湖丸　公州丸　九月十日　慶興丸　九月　日　木浦發
○多島海各島行　慶興丸　九月十二日　木浦發
○木浦行（群山其他各地經由）　[illegible]丸　九月　日　[illegible]
○群山行（江景其他各地經由）　晋州丸　九月十二日　麗水丸　九月十二日　仁川發
○鎭南浦行（海州其他各地經由）　宗信丸　九月八日　仁川發
○海州行（江華島各地經由）　全州丸　錦江丸　毎日　仁川發
○平壤行（芝渓、大連經由）（但し三十一日は休航）　江原丸　九月十一日　仁川發

商況
大阪自米持越 [illegible]
合資相場 [illegible]
編系成金取調へを受く